

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [語り部スキル](#) | [会話術の焦点 \(3\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

会話術の焦点 (3)

第2章 積極的に耳を傾ける

聴き手にも責任があります。

いいコミュニケーションには少なくとも良い聴き手がいなければ決してうまくいきません。

積極的な聴き手を育てるポイントは3つあります。

「全身で聴く」

聴き手のボディランゲージ

- ・身を乗り出す
- ・話し手のほうに集中する
- ・うなずく、ほほえむ
- ・話し手の言うことに何らかの反応を示す
- ・話し手の言うことが面白かったら、遠慮なく笑う
- ・気持ち悪かったら、うなる
- ・称賛すべきところは拍手をする

「イメージを与え、そして受け取る」

五感を刺激する

- ・嗅覚：つんとした、吐き気がするような、甘い
- ・味覚：甘い、しょっぱい、苦い
- ・触覚：なめらかな、ぼこぼこした、ちくちくした
- ・聴覚：やわらかい、耳障りな、うるさい
- ・視覚：淡い色、丸い形、大きい、小さい

「質問する」

聴き手は、話を理解するために、さまざまなチェックをしたり、提示された情報を分析しなければならない。

話し手に質問することで、話のポイントが明確になり、新しい好奇心がわいてくる。

質問させることで、聴き手はプレゼンに集中して、語り手やプレゼン内容と心の中で対話する。

聴き手に心の中で質問させるように指導する。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.